

エムオーテックス株式会社

自 2024年4月 1日

至 2025年3月31日

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	13,398,033	流動負債	6,497,315
現金及び預金	3,574,164	買掛金	429,622
売掛金	1,204,964	未払金	664,550
製成品	940,773	未払法人税等	808,243
貯蔵品	9,784	未払消費税等	233,794
短期貸付金	7,107,000	未払費用	93,731
未収入金	1,337	前受金	3,759,180
前払費用	546,900	預り金	32,820
仮払金	13,108	賞与引当金	465,672
固定資産	5,720,559	役員賞与引当金	9,700
有形固定資産	1,208,095	固定負債	79,210
土地	309,045	資産除去債務（固定）	79,210
建物	835,529	負債合計	6,576,526
構築物	719	(純資産の部)	
工具器具備品	61,896	株主資本	12,542,066
建設仮勘定	904	資本金	20,000
無形固定資産	1,723,274	資本剰余金	167,176
ソフトウェア	1,723,274	資本準備金	65,452
投資その他の資産	2,789,189	その他の資本剰余金	101,723
関係会社株式	992,431	利益剰余金	12,354,890
会員権	5,800	利益準備金	5,000
保証金	108,261	その他利益剰余金	12,349,890
繰延税金資産	1,509,955	別途積立金	380,000
長期前払費用	31,461	繰越利益剰余金	11,969,890
前払年金費用	146,179	純資産合計	12,542,066
貸倒引当金	△ 4,900	負債・純資産合計	19,118,592
資産合計	19,118,592		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
関連会社株式 移動平均法による原価法
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
製商品 個別法による原価法
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。)
貯蔵品 先入先出法による原価法
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。)

2. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産 定額法 (主な耐用年数: 建物 50 年、構築物 15 年、工具器具備品 5 年)
- (2) 無形固定資産 定額法 (主な耐用年数: ソフトウェア 3 年)

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しています。
- (2) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。
- (3) 役員賞与引当金 役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。
- (4) 退職給付引当金 (前払年金費用) 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。
数理計算上の差異は、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数 (5 年) による定額法により発生の翌期から費用処理しています。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。